

謹賀新年 令和8年



市民の声を市政に ～市民とともに豊かな郷土 の発展のために～

南あわじ市議会議長
谷口 博文

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、議会活動に対しまして格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私は常日頃から、故郷を愛し、故郷を守る郷土愛護の精神を重きに置き、世のため人のため、市民の声を市政に届けることを信条としてまいりました。議員の責務は執行部から提案される政策が真に市民のためになるか、南あわじ市の発展に資するかをしつかりと見極めることだと考えております。

公費負担の増加や各種保険料の引き上げなど、市民の皆さんにとって厳しい議案もございます。しかし、福祉の継続性や持続性を考慮し、公共の福祉という大局的な視点から判断することが求められます。市民の立場に立ちながらも、長期的な視野を持つて議会として判断してまいります。

また、市民の命・財産・暮らしを守ることは、私たちの最も重要な使

ます。本年が皆さまにとりまして、健やかで実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



- 10月 「道の駅うずしお」がリニューアルオープン
- 10月 南あわじ市役所が「GenAI-HR Awards 2025」グランプリ受賞
- 10月 市議会議員選挙を執行

南あわじ市民の皆さん、そして本市を応援いただいている皆さま、新年あけましておめでとうございます。日頃より市政へのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

昨年は市制20周年という節目の年でした。これまでの歩みを支えてくださった皆さんに、あらためて御礼申し上げます。

本市は「超高齢化社会の克服」「子育て・教育」「産業活性化」「安全・安心」「対話と行動」の5本の柱を軸に、市民の皆さんとともに取り組みを進め、発展を重ねてきました。今回は現時点の主なトピックスをお伝えします。

まず、超高齢化社会への対応では、「シニア元気分け合いプロジェクト」を推進し、いきいき百歳体操は90カ所を超える拠点へと広がっています。フレイル外来の充実にも取り組み、いつまでも元気に活躍できる地域づくりを進めています。

産業振興については、「世界一の食の島づくり」を軸に、一次産業と観光の融合を進めています。リニューアルした道の駅うずしおは、南あわじの魅力を発信する拠点としてさらなる賑わいを見せています。今後は、大鳴門橋自転車道の開通を見据え、交通アクセスなど利便性の向上に取り組んでまいります。また、丸山地区では、地域資源を生かした海業の新たな挑戦として期待が高まっています。

防災・減災では、デジタル行政防災無線の更新や、2台目となる浄水

飛躍へ
～南あわじ市、20周年
を越えて力強く前進～

南あわじ市長
守本 憲弘



器付自走式水洗トイレカーの導入など、災害対応力の強化を進めています。「自分の命は自分で守る」「地域の命は地域で守る」という意識のもと、地域防災の要である自主防災組織や消防団の皆さまのご尽力に深く感謝申します。

また、令和7年11月から3度目となる「地域と行政の対話の場」を市内21地区で順次開催しています。地域の声に丁寧に耳を傾け、市民の皆さんと共に未来をつくり、市職員のスキルアップにも努めてまいります。

令和8年の干支は「午」、勢いと前進を象徴する年です。市制20周年を経て新たなステージへと力強く歩み出します。年にしてまいります。本年が皆さんにとって健やかで、実り多い年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

- 1月 市長選挙で守本市長が二選
- 3月 「自治体トイレカー災害時相互派遣に関する協定」の締結
- 4月 木田副市長が就任
- 4月 灘黒岩水仙郷通年営業を開始
- 5月 市制20周年記念式典を開催
- 7月 淡路島が「美食都市アワード」2025」を受賞(授賞式開催)
- 3月 国民宿舎慶野松原荘が閉館

令和7年
南あわじ市
10大ニュース